



Good Memories

かけがえのない
時間を仲間たちと



CONTENTS

- 01 3年タイ交換留学
- 02 2年ニュージーランド交換留学
4年ニュージーランド語学研修
- 03 5年生 研修旅行/
屋久島コース・日本一周!? コース
- 04 原爆手記朗読劇・芸術鑑賞
- 05 全国大会報告
- 06 全国大会報告
CLUB NEWS

vol.
203
2023
10月発行

NAGISA NEWS

HIROSHIMA NAGISA JUNIOR HIGH SCHOOL SENIOR HIGH SCHOOL



アユタヤの巨大な涅槃仏の前で



クラスの歓迎会でタイ舞踊に挑戦



英語を使って、タイの文化・芸術について質問中



大学の研究施設で田植え体験

3年2組 / 持丸 瑞生

今回初めての海外経験となったタイ留学では、日本語や英語とは違う言語を話す人との交流があり、最初は不安を感じていました。しかし、共通の趣味の話をはじめ、同じものに対して「可愛い」や「怖い」と感じる事など、文化や価値観は異なっても共通する感覚があるのだと気づきました。

今後は異なる言語や文化の人と接する際、遠目に観察するだけでなく、積極的に話しかけて共通する話題を見つけることで、様々な感覚を共有しながら深く関わっていき、相手からたくさんのことを学んでいきたいと思いました。

3年3組 / 出木原 和花

ワット・パナンチュンを訪れた際、研修旅行で見た東大寺の大仏を思い起こしました。どちらも仏教の有名なお寺で、大きな大仏という共通点がありますが、寺院の装飾やお参りの作法に違いがあり、そこからタイと日本の宗教観の違いを感じました。また、立派な空港やホストファミリーと訪れた大きなショッピングモール、朝の交通渋滞などから都会的なバンコクの一面を目にすることができました。あわせて、道を歩いていると僧侶に会ったり「タンブン」という功德を積むための善行など、日本にはない習慣も見ることができて興味深い経験ができました。

3年タイ交換留学

【訪問】令和5年7月23日(日)～8月6日(日)

【受入】令和5年8月26日(土)～9月10日(日)

カセサート大学附属学校(通称:サティカセ)との交流は、オンライン上も含めて8年目を迎えました。今年は4年ぶりに直接往来ができ、生徒6名が交換留学に参加しました。

サティカセのあるバンコク市は経済成長が著しく、世界中から異なる文化的背景を持つ人々が集まり共存しています。その中でタイの人々は自国の歴史、文化、伝統への高い誇りをもち、国家、仏教、国王に敬意を払って生活しています。

盛大な歓迎を受け始まった学校生活では、音楽や舞踊、料理などタイの伝統文化を体験できる多くの授業に加え、アユタヤの世界遺産群を訪れる機会もありました。また学校やホームステイ先では、お互いに母国語ではない英語を使ってコミュニケーションを取りました。日本とは異なる文化に戸惑うこともありましたが、15日間にわたる生活を通してタイの人々の温かさを随所で感じました。

8月下旬からはサティカセ生が本校を訪れました。多くの生徒たちとの交流を通して異文化理解と友好をより深める事ができました。

2年ニュージーランド交換留学

日程 令和5年7月23日(日)～8月3日(木)

場所 ニュージーランド パサデナ中学校



パサデナ生と一緒につかったお菓子の首かざりをつけて記念撮影



Maoriの踊りを学びました



Maori伝統の料理で昼食会

新型コロナウイルス感染対策のため中止していたニュージーランド交換留学が4年ぶりに実施されました。留学前の6月にパサデナ生が本校を訪れてお互いに交流していたとはいえ、最初のうちはニュージーランドでの生活に不安を持ち、緊張しているようでした。しかし、一緒に授業を受け、休憩時間を過ごす中で、フレンドリーなパサデナ生のおかげで徐々に打ち解けることができました。授業では「EPRO」や「STEM activity」といった科目、Maoriの伝統的な歌や踊りなど興味深い内容が目白押しでした。また校外での「Auckland Zoo」や「All BLACKS EXPERIENCE」の見学は大変貴重な時間となりました。交換留学生には今回の経験や学びを自身の今後の生活に活かすと同時に、多くの人に発信して欲しいと思います。

2年2組 / 曾根川 裕子

パサデナ生の受け入れでは、日本での生活を楽しく過ごしてもらと共に、日本について様々なことを伝えました。その事前準備を通して、改めて私自身が自国の文化の素晴らしさや良さに気づくことができました。同様に、私がニュージーランドへ留学した時も、とても楽しい時間を過ごせました。パサデナ生はみんな積極的に誘ってくれて、日本語での挨拶もしてくれました。私も彼らを見習い、積極的に色々なことに挑戦してみると、自分に自信が持てるようになり、達成感を感じることができました。ホストファミリーとの生活では、毎日有名な場所に連れて行ってくれて、そこでしかできない貴重な体験ができ、感謝の気持ちで一杯です。今回のニュージーランド交換留学を通して、人と人との関わりやコミュニケーションの大切さ、積極的に行動することで多くの人との繋がりをもてることを学びました。

2年1組 / 櫻井 悠翔

今回の交換留学で英語の面白さを知りました。最初は、緊張すぎて話ができず、パートナーと気まずい雰囲気になってしまいました。しかし、ホストファミリーと生活をする中で、パートナーだけでなくその弟とも会話をするうちに英語を使うことが楽しくなりました。パサデナ中学校でも英語で話すことで友達をたくさん作ることができました。最終日には、お別れするのが悲しいとみんなに言ってもらえて嬉しかったです。交換留学で身につけた様々な経験を今後の生活に活かしていきたいと思います。またこのような機会があれば是非参加したいです。

4年ニュージーランド語学研修

日程 令和5年7月24日(月)～8月15日(火)

場所 ニュージーランド(タウランガ) オツモエタイ高校



ワイカト大学訪問



歓迎式



ダブルダッチ



パディと集合写真



修了式

「ひろしま平和の歌」を合唱

4年生20名はニュージーランドのタウランガにあるオツモエタイカレッジで、約3週間の語学研修に参加しました。このプログラムでは、語学力を伸ばすだけでなく、ニュージーランドの人々とのふれあいの中で異文化を理解して、地球市民の感覚を身につけることを目的とし、「生活したり、学んだりするために必要な実践的な英語」を学習しました。英語で気持ちを伝えたくても上手に伝えられない、というもどかしさも感じていましたが、通じ合った瞬間の喜びを自信に繋げ、意欲へと変えていきました。このプログラムで経験した出来事を糧として、今後の学校生活、またその将来に向けて大きく飛躍して欲しいと思います。

4年2組 / 黄瀬 太吉

この度の語学研修ではニュージーランドの文化について学ぶことができました。初めて登校した時には大迫力のハカを披露され、マオリ文化やマオリ語について学びました。ホームステイ先では、ニュージーランドの人たちの生活についても知ることができました。入浴時は湯船につからずシャワーを使用することや、就寝時間が早いことなどを知りました。更に、牧場を併設している家も多数ありました。今回の語学研修を通して様々な人たちや文化とふれあうことで、日本との違いだけでなく、それぞれがもつ良さや気づくことができ、将来に役立つ貴重な体験ができました。

4年5組 / 大西 季菜

私のパディのグレイスは、明るくてとても話しやすく、英語が上手く話せない私に、ゆっくり聞き取りやすい英語で対応してくれました。グレイスの友達も優しく接してくれたことで、不安感を取り除くことができました。毎日英語に触れ、様々な人と関わり友達もたくさんできたため、今後もその人たちとメールなどを通じて英語で会話をし、仲を深めながら自分の英語のスキルを伸ばしていきたいと思いました。

屋久島コース (5年生研修旅行)

日程 令和5年7月21日(金)～7月25日(火)

現地インストラクターの協力によりコース全体のテーマを『いのちの物語』と定め、その日毎のテーマと関係を持たせながら研修旅行を実施しました。1日目は「歴史と命の物語」。知覧の特攻平和会館を訪れて神風特攻隊について学び、広島とは異なる視点で平和や命の尊さについて再確認しました。2日目から屋久島へ。「森林の物語」「川と海の物語」「産業と私の物語」とそれぞれの日でテーマを設定し、紀元杉などの屋久杉見学、カヤック、ビーチコーミング、大川の滝などの名所巡りで自然豊かな屋久島を五感で感じました。アクティビティ後はお互いに気づきを話し合い、現在地球や人間が抱えている課題を自分事として理解し、今後私たちが取るべき行動を考えるという活動を行いました。日々の活動の中で、なぎさ生らしい心優しい振る舞いや気遣いなどが垣間見え、日々成長する姿が遅く見えました。



カヤック体験



知覧から発った特攻兵に
思いを馳せる生徒



屋久島到着



紀元杉を感じる

5年3組 / 武田 紋奈

屋久島研修旅行は予想以上に多くの学びを得ることができました。知覧特攻平和会館やヤクスギランドでは、前の世代の人たちが命を懸けて守った場所に私たちが生きており、もっと各々の役割を全うできるよう頑張って生きなければならないと強く感じました。また、自分のやりたいことを職業としている屋久島の人話を聞き、自分の興味あることを追求する道もあるのだと感じました。今回の研修旅行を通して、屋久島にこの先どのように生きていくべきなのかを教えられたような気がします。

5年5組 / 梶岡 侑生

屋久島研修旅行を通して命や繋がりを強く感じました。初めは知覧にてその時代に生きた人がどのように感じ、何をしたかを学びました。次に訪れた屋久島では今生きる多くの命を見て、何をし、何に苦しんでいるかを学ぶことでこれからの将来において命がどうあるべきか、自分なりに考える貴重な時間を過ごしました。それと同時に、過去の命から今の命へと何が受け継がれていくのか、何が失われていくのかを深く考えさせられました。

日本一周!?! コース (5年生研修旅行)

日程 前半: 令和5年7月21日(金)～7月27日(木)
後半: 令和5年7月29日(土)～8月4日(金)

青春18きっぷを利用した在来線、新幹線、特急、飛行機など様々な交通機関を利用した6泊7日の旅行です。彦根、松本、会津若松、函館、熊本自由研修では各班で事前に食事場所や訪問先を調べた上で、計画的に行動しました。また、仙台では牛タン、盛岡ではわんこそば、北海道では新鮮な海の幸など各地の名産も味わいました。彦根城、松本城、熊本城などの全国の名城、日本三大夜景の函館の夜景、稚内での最北端ツアーなど様々な体験を行うことができました。広島駅に戻ってきた瞬間にもう一度日本一周したいという声が多く上がるほど、生徒の満足度は非常に高かったと思います。この研修旅行を通して、生徒は時間や体調などの自己管理、自由研修での計画性、班員と協力していく協調性や行動力など多くのスキルを身に付けることができました。1週間で生徒の成長を目の当たりにすることができました。



熊本城の天守閣



最北端の地で記念撮影



函館にてイカ釣り



仙台にて牛タンを堪能

5年1組 / 桑原 菜月

日本一周で一番印象に残っていることは、稚内での最北端ツアーです。稚内は風が強く肌寒いくらいでしたが、マイナス10℃以下の流氷館の中は更に寒く、中にいる動物の剥製が怖く感じ、寒さを増大させました。流氷館を出た後は寒く感じた稚内が暑く感じるほどでした。他にも会津若松では赤べこの絵付け体験を行うなどたくさん思い出が残りました。この研修旅行を通して、楽しむことと同時に自己管理の大切さを学びました。

5年1組 / 岡村 更紗

盛岡でのわんこそば体験が一番印象に残っています。引率の先生から過去の女子生徒の記録を伺い、記録更新を狙いました。結果、見事に日本一周参加の女子生徒の歴代最高記録を更新することができました。また、函館で夜景を見る日に花火大会が行われており、函館の夜景と打ち上げ花火を同時に見られるという、とても貴重な経験ができて感動しました。この旅行で人任せにせず全員で協力することの重要性を学ぶことができました。

原爆手記朗読劇

日程 令和5年7月19日(水) ③④:1・4組
⑥⑦:2・3・5組

場所 本校シェルホール

1945年 あの夏を忘れない

今年度も1年生を対象に、「夏の会」の皆さんによる原爆手記朗読劇「1945年 あの夏を忘れない」がシェルホールで上演されました。朗読は高田 敏江さん、長内 美那子さん、池田 舞さん、クラシックギターによる演奏は上垣内 寿光さんによるもので、更に1年生の中からオーディションによって選ばれた4名の生徒も出演しました。4名の生徒は、原爆によって家族を失った人たちの思いを綴った手記に向き合い、丁寧に伝えようと本番に向けて練習を重ねていきました。朗読には、平和を願う強い思いが込められ、心に迫るものがありました。朗読に合わせてスクリーンには被爆直後の街や人々の様子が映し出され、音響も加わり、生徒一人ひとりの心に強く響いた様子でした。



朗読を終えて



「あの夏を忘れない」



平和を願う思いを込めた朗読



朗読会後の交流会



質問に対しての丁寧なお答え

1年1組 / 三戸 蒼莉

両親や兄弟を失った一人ぼっちの子ども、子どもに先立たれた親。きっと私には想像できない、言葉では表せない気持ちだったと思います。今は平和で明るい日本も、1945年8月6日の広島、8月9日の長崎では地獄のようになり、他にも戦争で街が破壊されたという事実があります。この事実を昔のことと思わず、身近なこととして捉えていきます。今も戦争で私よりも小さな子どもたちが苦しんでいます。戦争をなくす大きな力なくても、戦争をしてはいけないということは思い続けていきたいです。

1年4組 / 種本 優菜

3名の女優の方の迫力が凄く、情景が思い浮かびました。また、朗読をした生徒の伝えたいという思いが溢れており、この日のために何時間も練習を積んできたことが窺えました。原爆を体験した人が話したり、書いたりした本当の話だからこそ、悲しみや悔しさ、自分への怒りなど複雑な感情を感じました。広島に住んでいる人間として決して目を背けてはならず、心に留めておかなければいけない出来事だと思います。細かい部分まで表現の工夫がされており、たくさん経験があるからこそできる、想いが伝わる朗読劇だと感じました。

芸術鑑賞

日程 令和5年7月13日(木)

場所 上野学園ホール



ミツが働くクリーニング工場の女子工具たち



開演前



雑誌の文通欄で知り合ったミツと吉岡



復活病院で生活を共にする患者たち



医師からハンセン病という宣告を受けるミツ



貧しい大学生の吉岡努

音楽座ミュージカル「泣かないで」

今年度は、音楽座ミュージカル「泣かないで」を鑑賞しました。高度経済成長期の大学卒エリートの吉岡と、クリーニング工場働くミツとの、ただ一度の出会いをきっかけに物語が展開されていきます。ハンセン病の誤診を受けたことで、ハンセン病患者に尽くすことを決めたミツの人間愛と、そんなミツの存在を忘れてしまう吉岡の心境を描く、複雑なテーマの作品でしたが、役者さんの熱演、音楽、ダンスを通して、生徒の心にも作品で描きたかったことが伝わったのではないかと思います。終盤や、終演後には涙ぐむ生徒もあり、作品を通して流れる「人間愛」を感じたようです。

2年4組 / 小池 一輝

一見ミツさんが患者たちのために尽くすという話ですが、率直に考えたところ、私には家の机を手で触ったようなざらざらとした感触が残りました。彼女は不完全な愛を衝動的に断ち切って、確実な愛を選択したかのように感じました。私にはまだ理解しきれない部分もありますが、彼女が棄てたのは「うつつりやすい愛」なのかと思います。

4年1組 / 明石 暁斗

この作品を見て、ミツさんの多くの人に対する愛と、吉岡さんの一人に捧げる愛が対極になっているのではないかと思います。ミツさんは吉岡さんに恋をしていましたが、多くの人に優しく明るく接していました。しかし、吉岡さんはミツさんに見向きもせず、ハンセン病だと知ると気味悪がって避け、三浦さんへ愛を捧げていました。好きな人に振り向いてもらえず亡くなってしまったミツさんが最後まで吉岡さんを想っていたことが切なく感じると共に、吉岡さんの行動には苛立ちを強く感じました。心情や思い、日々を踊りや歌で表現しているミュージカルの素晴らしさを改めて実感しました。

全国大会報告



陸上部

令和5年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

- 日程 令和5年8月2日(水)～6日(日)
- 会場 札幌市厚別公園陸上競技場
- 結果 女子400mハードル 永井 千尋(6-5) 1分06秒53
予選3組8着 予選敗退
男子110mハードル 古中 睦人(6-3) 15秒29
予選4組6着 予選敗退

教員観戦記

永井さんは大会2日目に400mハードルの予選に挑み、「勝負をしにいく」という強い気持ちで前半から積極的なレースを展開しましたが、緊張もあり、後半に大きく失速し、予選敗退となりました。古中くんは、大会5日目に110mハードルの予選で、スタートの反応に遅れ、焦りから動きが硬くなってしまいました。後半に巻き返しの図りましたが、力及ばず予選敗退となりました。しかし2人ともこれまでの努力の成果を出すことができ、清々しい笑顔で大舞台を終えることができました。



笑顔の出場記念

6年5組 / 永井 千尋

予選敗退という結果には悔しさだけでなく、全国の厳しさを痛感しました。しかし、夢の舞台で走れたことを嬉しく思います。インターハイ出場決定の瞬間、自分のことのように喜んでくれた仲間がいました。おかげで全国でも自信を持ってスタートラインに立てました。何度も諦めかけましたが、ここまでやり切ることができたのは、たくさんの人の支えが背中を押してくれたからです。ありがとうございました。

6年3組 / 古中 睦人

私は小中高合わせて9年間陸上競技をしてきました。その9年間の最後の試合がインターハイだったため、全てをぶつけるつもりでレースに臨みました。悔しい気持ちもありますが、思い切り走ることができ、清々しく終わることができました。応援してくれた同級生や先輩、後輩、そして先生方、本当にありがとうございました。



中学テニス部

第50回全国中学生テニス選手権大会

- 日程 令和5年8月18日(金)～20日(日)
- 会場 香川県総合運動公園
- 結果 男子団体戦 初戦敗退

教員観戦記

50回目の記念大会で、本校は6度目の全国大会出場で、初戦突破を目指しました。最初の試合では全国常連校の甲南中学校(兵庫県)と対戦し、ダブルスで1試合勝利したものの、他の試合で流れを掴めずに敗退しました。生徒たちは全国のレベルの高さを感じ、来年の全国への挑戦を心に誓いました。



全国中学校テニス選手権大会

3年3組 / 熊谷 光真

今回の大会では、全国に数多くの優れた学校が存在するを実感しました。初戦からハイレベルな相手と対戦し、惜しくも敗退しましたが、自身の力を最大限に発揮し、素晴らしい試合を展開できました。この全国大会の経験を胸に、高校進学後も努力を続けていきたいと思えます。



囲碁将棋部

第47回全国高等学校総合文化祭将棋部門・第59回全国高等学校将棋選手権大会

- 日程 令和5年8月3日(木)・4日(金)
- 会場 指宿総合体育館・指宿白水館
- 結果 男子個人戦 第5位

教員観戦記

男子個人戦に出場した重弘くんは、予選を3勝1敗で通過し、決勝トーナメントでは1回戦、そして2回戦を突破して準々決勝に進出しました。由緒ある指宿白水館内の薩摩伝承館に会場を移して行われた準々決勝では僅差で惜しくも敗れましたが、全国の強豪を相手に見事5位に輝きました。この大会を通して得た様々な経験は、重弘くんにとって大きな糧になったことと思います。今後の更なる活躍が期待されます。



決勝トーナメント準々決勝の対局



見事第5位入賞

4年6組 / 重弘 佑也

予選は見落としなどがあり、危ない対局が多かったものの、何とか3勝1敗で通過しました。決勝1・2回戦も局面が最後まで見通せない中、辛うじて勝利を掴みました。準々決勝は序中盤は圧倒的にリードしていたにも関わらず、終盤、秒読みで焦ってしまい、大逆転負けしました。始終優勢だと思っていただけに悔しい結果となりました。今後は終盤の対応を中心に将棋の勉強に励み、更なる高みを目指したいと思います。



社会体育(ヨット)

令和5年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会 第64回全国高等学校ヨット選手権大会

- 日程 令和5年8月12日(土)～16日(水)
- 会場 和歌山セーリングセンター
- 結果 男子レーザーラジアル級1位

教員観戦記

本年度のILCA6ユースワールド代表とWSユースワールド代表であるため、JOCやJSAFの全国規模の大会には何度も出場していましたが、インターハイは初出場でした。大会前半は、台風の影響で強めの風となり、2位以下を大きく引き離すレースがいくつもありました。最終日は、台風後の不安定な弱風のためか思うようなレース展開が出来ないようでしたが、総合1位を獲得しました。



いよいよレース開始



インターハイ1位

5年3組 / 豊澄 成光

インターハイセーリング競技の男子レーザーラジアル級に出場しました。レース前半は絶好のコンディションで気持ちの良いレースができました。全部で6レースあり、1位-1位-1位-11位-6位で、優勝することができました。これまで支援いただいた方や保護者の方、先生方や友達からたくさんの応援をいただきました。練習成果をレースで発揮できるよう、精一杯努力していきますので、これからも応援よろしくをお願いします。

全国大会報告



放送部
総文アナウンス

第47回全国高等学校総合文化祭 放送部門

日程 令和5年8月3日(木)・4日(金)
会場 かごしま県民交流センター
結果 アナウンス部門 優秀賞 木村 心香 (5-2)

教員観戦記

締め切り直前まで何度も書き直しをした原稿で練習を繰り返し、本番に臨みました。アナウンス部門は、各県代表3名(開催県のみ6名)計144名を8ブロックに分け、ブロックで最高の評価を得た人に優秀賞が与えられます。強豪校もいる中で、今までやってきたことを信じ、落ち着いて演技をしたことが結果に繋がりました。



会場のかごしま県民交流センターにて



受賞の喜び

5年2組 / 木村 心香

オルゴール作曲家の橋本勇夫さんを紹介しました。1年前から取材を始め、試行錯誤しながら何とか満足いく原稿を完成させることができました。地区大会、県大会と突破し、ようやく全国の舞台に立ち、最後に最高の賞をいただくことができました。ご指導、応援してくださった方々に感謝しています。ありがとうございました。



放送部
NHKアナ

第70回全国高校放送コンテスト

日程 令和5年7月24日(月)～27日(木)
会場 NHKホール・国立オリンピック記念青少年センター
結果 アナウンス部門 準々決勝敗退 木村 心香

教員観戦記

卒業生の福岡奈織さんを紹介する原稿で挑んだ今回のNHK杯。1分半に収めるには難しい内容で、どう伝えるか悩みました。賞レースだけにこだわる場合は、もっと簡単な原稿に変えることもできましたが、福岡さんの思いを伝えたい、と敢えて難しい選択肢を選びました。その「伝える」という気持ちを忘れずに、これからも活動して欲しいです。



演技を終えて安堵の表情



来年への決意を込めて

5年2組 / 木村 心香

今回、本校卒業生の福岡奈織さんの取り組みを紹介しました。県内の耕作放棄地で自然栽培を行う福岡さんは、先進国が途上国の農地を奪う「土地収奪」の問題を解決したいと考えています。その思いを知ってもらおうと、原稿を作りました。準決勝には上がりませんが、自分の中では最高の演技ができたと思います。



放送部
NHKテレビ

第70回全国高校放送コンテスト

日程 令和5年7月24日(月)～27日(木)
会場 NHKホール・国立オリンピック記念青少年センター
結果 テレビドキュメント部門 制作奨励賞(代表) 中本 百香 (5-1)

教員観戦記

8ヶ月かけて制作した今回のテレビドキュメントは、ただ誰かを取材して紹介するというものではなく、放送部自らが「自分たちの活動の在り方」を問い直すものでした。制作にかけた労力は、どの学校にも負けていなかったと思います。2年連続となる制作奨励賞受賞という結果に誇りを持ち、今後の活動に繋げていって欲しいです。



決勝会場のNHKホールにて



受賞の喜び

5年1組 / 中本 百香

私たちは、26年に渡りパレスチナの女性支援を続けてきたNGO団体「サラーム」の皆さんを取材する中で「社会を変えるためのヒント」を教わりました。それを伝えよう番組を制作し、昨年に引き続き制作奨励賞をいただきました。たくさんの人に見てもらうことができ嬉しく思います。お世話になった方々に感謝の気持ちで一杯です。

CLUB NEWS

高校陸上部	
第76回中国高等学校陸上競技対校選手権大会	
日程	令和5年6月16日(金)～18日(日)
成績	男子110mハードル 第5位 古中 睦人(6-3) 女子400mハードル 第6位 永井 千尋(6-5)

高校軟式野球部	
第68回全国高等学校軟式野球選手権西中国大会	
日程	令和5年8月5日(土)・6日(日)
成績	準優勝

中学硬式テニス部	
第50回全国中学校テニス選手権大会広島県予選	
日程	令和5年4月30日(日)～5月3日(水)
成績	男子団体戦 優勝 男子シングルス 第7位 森原 千一郎(1-5) 男子ダブルス 第3位 沖田 太陽(2-1)・川元 秀五(2-2)
令和5年度広島県中学校テニス選手権大会	
日程	令和5年7月8日(土)
成績	男子団体戦 優勝

中高放送部	
第43回広島県中学校放送コンテスト 第40回NHK杯全国中学校放送コンテスト広島県大会	
日程	令和5年6月25日(日)
成績	アナウンス部門 第8位 和田 真宙(2-3)

中高囲碁・将棋部	
第59回全国高校将棋選手権大会広島県予選 第47回全国高校総合文化祭将棋部門	
日程	令和5年5月14日(日)
成績	男子個人戦A級 準優勝 重弘 佑也(4-6) 男子個人戦B級 優勝 加島 直樹(6-5) 女子個人戦 第3位 吉川 結(6-2)